



亀中だより

No.42 令和4年2月8日 文責:岡田



For The Students!

感謝状をいただきました!

毎年取り組んでいる人権作文コンテストについて、法務省と全国人権擁護委員連合会から感謝状をいただきました。この取組は「次代を担う中学生が、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうこと」を目的としています。これを励みに今後も亀山中学校として、人権作文の取組、人権学習の充実に努めていきます。



来年度より職場体験学習 三日間開催へ 9/14~9/16

中学校での学びの中で、一番大切といっても過言ではないのが自らの生き方を探っていくことです。卒業後の自分の姿や10年、20年先の自分の姿を想像することで見えてくることがあります。中学生に「将来の職業を決めなさい」というような無理を言うつもりは毛頭ありませんが、生き方のヒントになる経験をさせてあげたいとは考えてきました。その中でも大きな学びであったのが、この職場体験学習なのですが、このコロナ禍で昨年と今年は実施ができませんでした。学年ではこれに代わる学習として、卒業生や地域の方々をゲストにお迎えして講演をいただくことや、自らの調べ学習を発表するなどを行ってきました。

4年度の職場体験学習については、市内3中学校、亀山市教育委員会と協議した結果、体験期間は3日間、期日は9月14日~16日と決定いたしました。期間を短くすることで集中的に中身を充実させるとともに事前事後の学習もスリム化を図ります。今なお、新型コロナウイルスの脅威は続いています。来年度こそ、この学習が実施できるよう、計画を進めていきたいと思っております。



2月20日に予定されていた第15回美し国三重市町対抗駅伝大会が、コロナ禍のために中止となりました。本校からも亀山市代表チームのメンバーとして3年林里音さん、2年安藤海哉さん、1年大岩みなみさん、森祐磨さんの4人の出場が予定されていただけに残念でなりません。活躍の場が失われていく悔しさはありますが、彼らが努力してきた日々は別の場で必ず生きてくるものだと思います。

ただいま真っ只中 高校入試!



1月中旬から始まった高校入試も私立高校の入試、そして公立前期選抜も終了いたしました。それぞれに届く結果は正面から受け止めて、その次のことに向けた新たなスタートを切っていくことはなりません。あらためてシビアな入試の現実を感じます。

ただ入試前の面接練習などの場面で本当にたくさん生徒の努力する姿、成長した姿を見せてもらっています。ある高校の校長先生が「入試を通して新たな自分を見つけてほしい」「入試が次へとつながる体験となってほしい」とおっしゃっていました。

3年生のみなさん、最後まで頑張ってください!そして進路が決まりつつあるみなさん、仲間の進路実現を応援していきましょう!